

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分  
 【発行日】平成24年10月18日 (2012.10.18)

【公表番号】特表2012-506497(P2012-506497A)  
 【公表日】平成24年3月15日 (2012.3.15)  
 【年通号数】公開・登録公報2012-011  
 【出願番号】特願2011-532541(P2011-532541)  
 【国際特許分類】

A 4 1 B 11/00 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 11/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月28日 (2012.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

弾性的に撓む材料から成る、皮膚に着用するための圧迫衣類であって、部分的に、圧迫のための手段が設けられており、前記圧迫のための手段が、ウェブ（３）により形成されていて、該ウェブが皮膚（２）に面した側に設けられていることを特徴とする、皮膚に着用するための圧迫衣類。

【請求項 2】

前記ウェブ（３）が、材料厚さを高めることにより生ぜしめられている、請求項 1 記載の圧迫衣類。

【請求項 3】

前記ウェブ（３）が、ほぼ三角形の形状を有している、請求項 1 記載の圧迫衣類。

【請求項 4】

前記ウェブ（３）が、規則的な間隔を置いて配置されている、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項記載の圧迫衣類。

【請求項 5】

前記ウェブ（３）が、コーティング（７）を備えている、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項記載の圧迫衣類。

【請求項 6】

弾性的に撓む材料から成る、皮膚に着用するための圧迫衣類であって、部分的に、圧迫のための手段が設けられており、前記圧迫のための手段が、織布ストリップ（８）により形成されており、該織布ストリップ（８）が、衣料のベース織布とは異なる弾性を有していることを特徴とする、皮膚に着用するための圧迫衣類。

【請求項 7】

前記手段（３，８）が、中断部（３４，８１）を有している、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項記載の圧迫衣類。

【請求項 8】

前記手段（３，８）が、水平方向に方向付けされている、請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項記載の圧迫衣類。

【請求項 9】

前記手段（３，８）が、鉛直方向に方向付けされている、請求項 1 から 7 までのいずれ

か 1 項記載の圧迫衣類。

【請求項 10】

前記手段（3，8）が、螺旋状に方向付けされている、請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項記載の圧迫衣類。